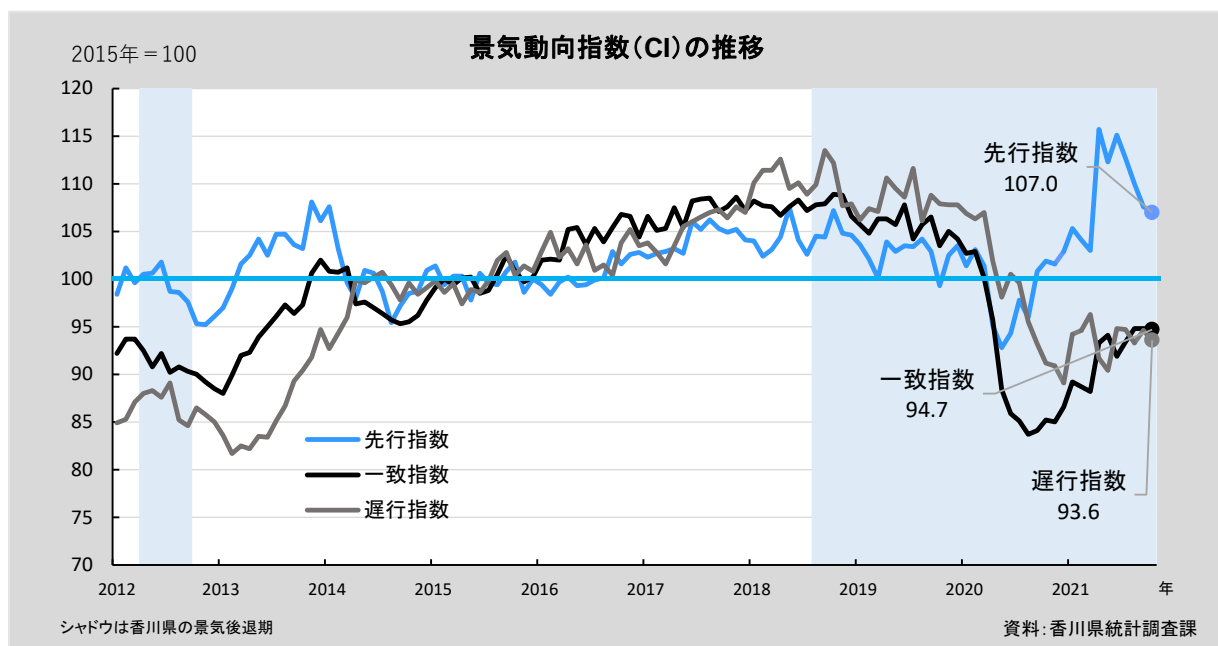


概況	新型コロナの影響で一部に下押し圧力の影響があるが、緩やかに持ち直しつつある。
個人消費	一部に下押し圧力の影響があるが、緩やかに持ち直しつつある。
住宅投資	持ち直しが続いている。
公共投資	減少している。
生産活動	持ち直しの動きが一服している。
雇用情勢	持ち直しの動きがみられる。
貿易	輸出、輸入ともに増加している。
観光	弱い動きの中、持ち直しの兆しがみられる。

景気動向指数(かがわ CI)

一致指数 4カ月ぶり下降



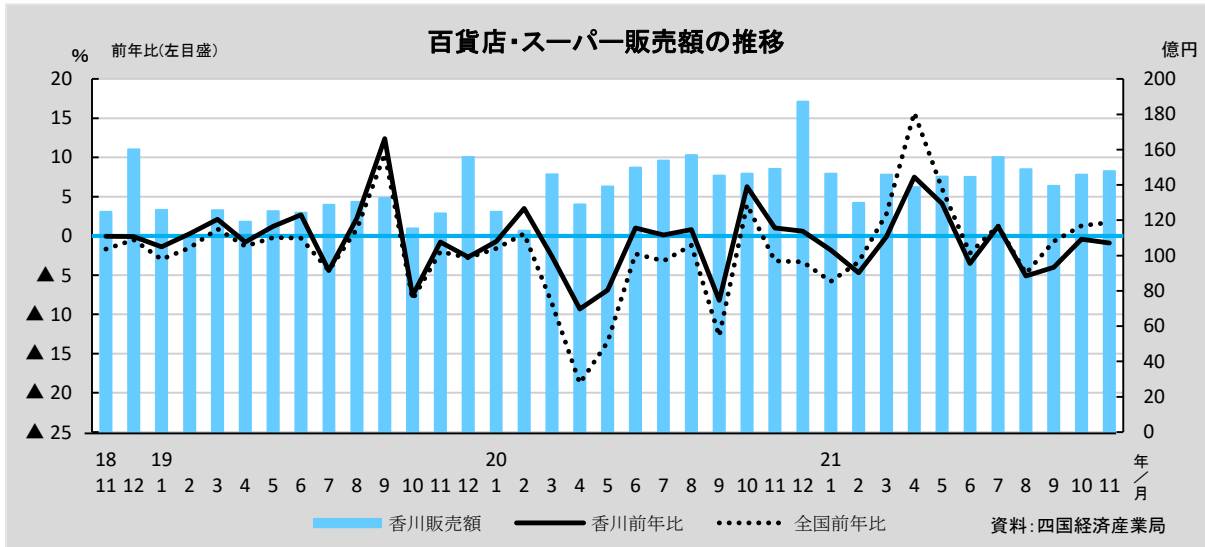
景気の現状をみると、10月のCI一致指数は94.7（前月比▲0.1ポイント）と4カ月ぶりに下降。CI先行指数は107.0（同▲0.6ポイント）と4カ月連続で下降。CI遅行指数は93.6（同▲1.0ポイント）と2カ月ぶりに下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、鉱工業生産指数、所定外労働時間指数、建築着工床面積等が下降に寄与したことにより、前月から0.1ポイントの下降となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	▲ 0.22	1 雇用保険受給者実人員	0.89	1 常用雇用指数	0.04
	2 乗用車新車登録台数	1.27	2 有効求人倍率	0.35	2 有効求職者数	0.18
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 1.40	3 所定外労働時間指数	▲ 0.73	3 消費者物価指数	▲ 0.53
	4 生産財生産指数	▲ 0.08	4 鉱工業生産指数	▲ 0.80	4 家計消費支出	▲ 0.76
	5 新設住宅着工戸数	▲ 1.12	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.20	5 鉱工業在庫指数	0.54
	6 金融機関貸出残高	0.47	6 建築着工床面積	▲ 0.21	6 法人事業税調定額	0.06
	7 消費者態度指数	0.61	7 百貨店・スーパー既存店販売額	0.61	7 第3次産業活動指数	▲ 0.38

●百貨店・スーパー販売額

4カ月連続減少 ↓

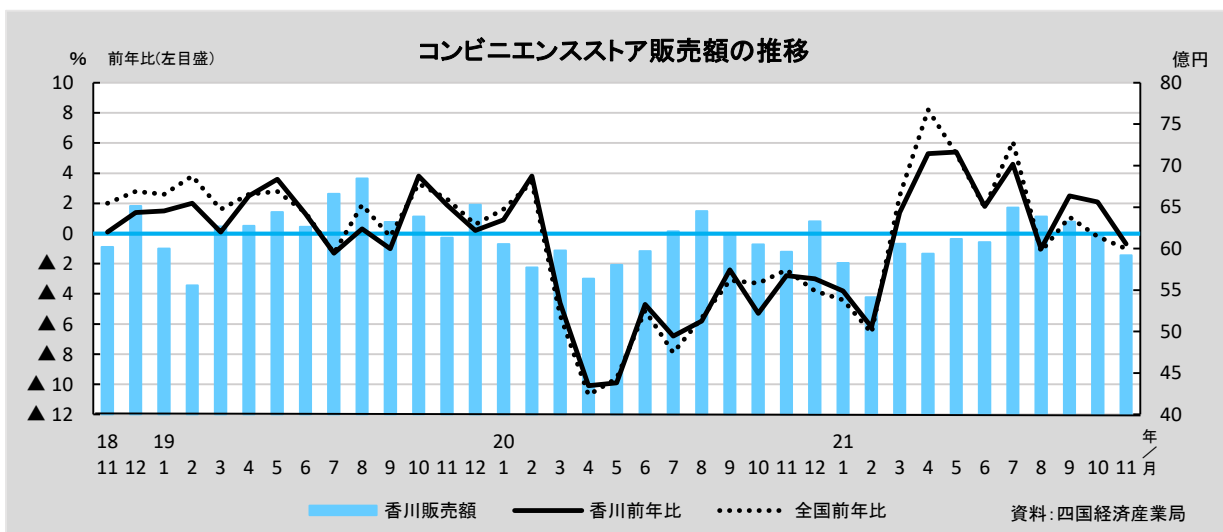


2021/11月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	129,495	57,026	1,070,666	2,582	5,715	27,056	184,682	514	1,477,736
前年同月比(%)	▲3.7	▲4.5	0.4	▲0.8	▲25.5	▲72.0	38.8	▲36.1	▲0.9

11月の百貨店・スーパー全店(84店)の販売額は、147.8億円で前年同月比▲0.9%と4カ月連続で減少した。靴などの「身の回り品」が前年同月比▲4.5%、「家庭用品」が同▲72.0%と前年を下回った。
一方、「衣料品」は外出機会の増加で婦人服などに動きがみられ同+3.7%となった。

●コンビニエンスストア販売額

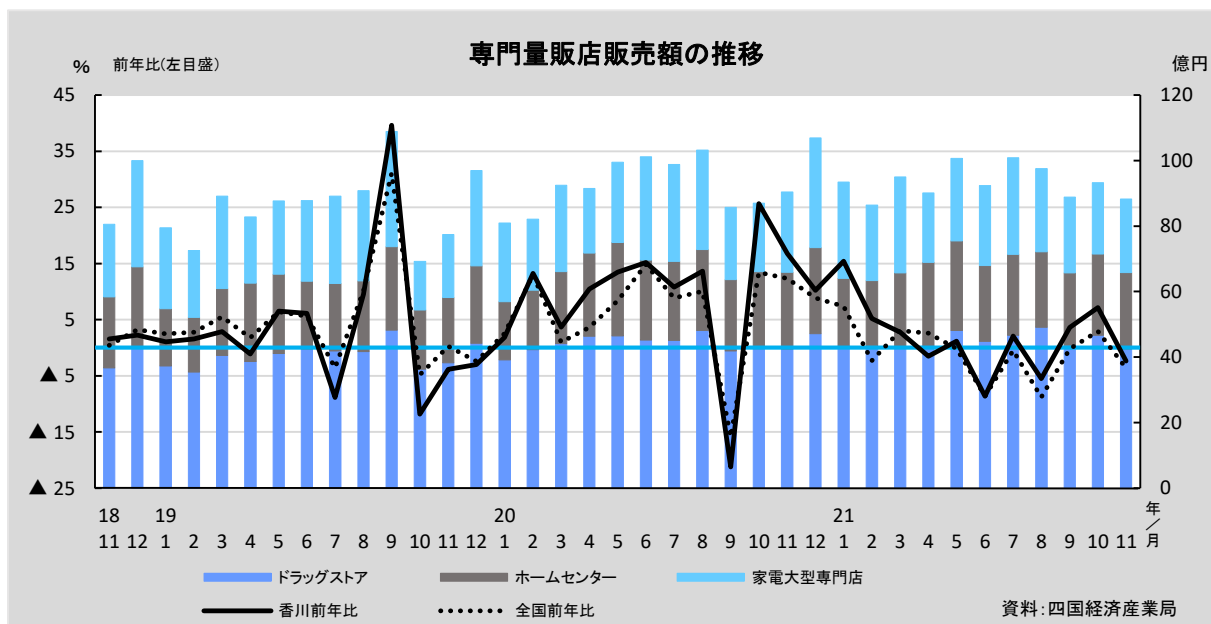
3カ月ぶり減少 ↓



11月のコンビニエンスストア全店(410店)の販売額は59.2億円で、前年同月比▲0.7%となった。おにぎり、調理パン、ソフトドリンクなどの動きが鈍く、3カ月ぶりの減少となった。

● 専門量販店販売額

3 カ月ぶり減少

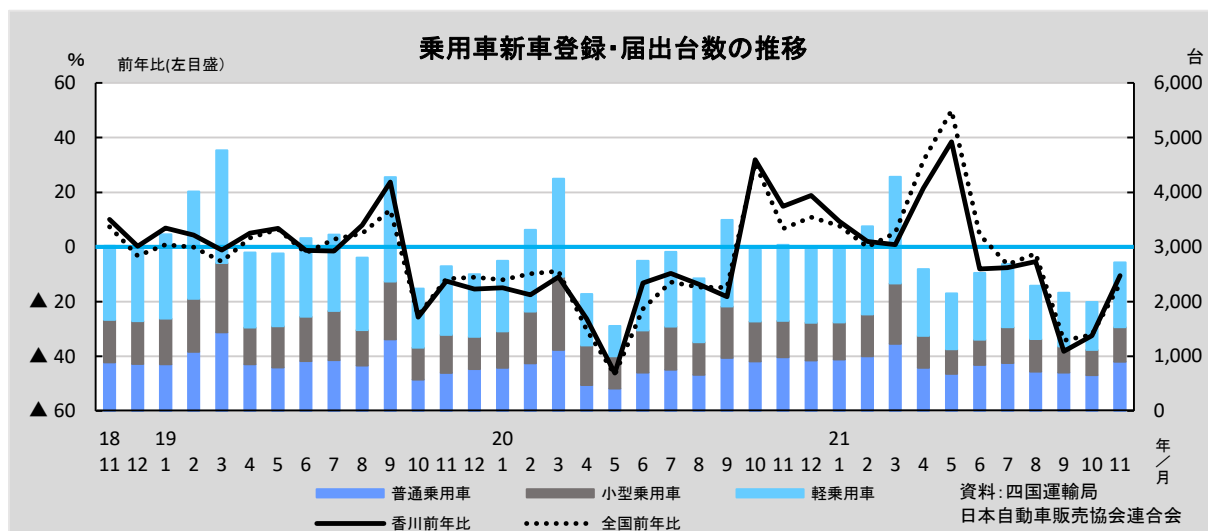


11月の専門量販店全店（205店）の販売額は88.3億円で、前年同月比▲2.4%と3カ月ぶりに減少した。

業態別にみると、携帯電話の新商品が発売された前年の反動や、空気清浄機が振るわず**家電大型専門店**（28店）の販売額は、22.5億円で前年同月比▲8.3%となった。**ドラッグストア**（132店）の販売額は、肉食傾向が続き冷凍食品などの飲食品が堅調で、42.4億円で同▲0.1%とほぼ横ばい。**ホームセンター**（45店）は前年の反動減もあり、販売額は23.4億円で同▲0.3%となった。

● 乗用車新車販売台数

6 カ月連続減少



11月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,718台で、半導体不足のほか、東南アジアのコロナ感染拡大で部品調達が滞り生産停滞が続き、前年同月比▲10.5%と6カ月連続で減少した。マイナス幅は縮小傾向にある。

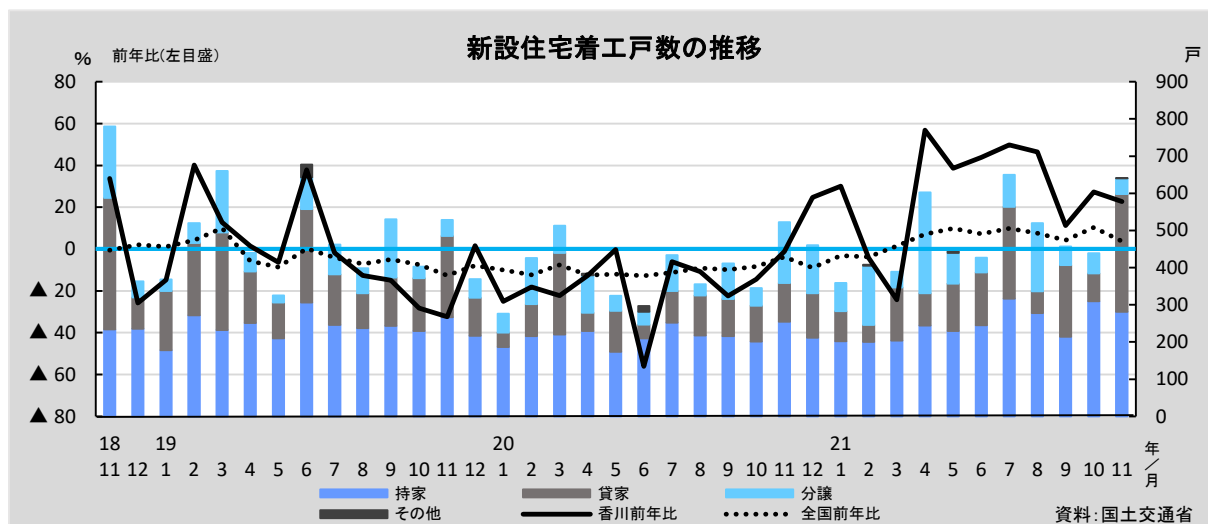
車種別にみると、普通乗用車で前年同月比▲8.6%、小型乗用車で同▲5.2%、軽乗用車で同▲14.4%となった。

住宅投資

持ち直しが続いている

●新設住宅着工

8カ月連続増加 ↑



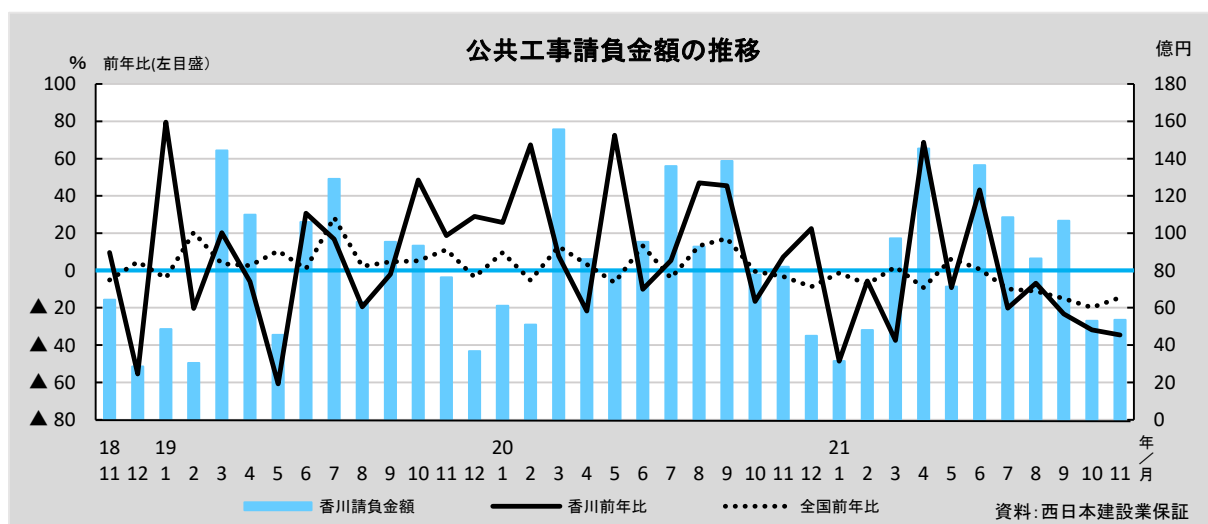
11月の新設住宅着工戸数は641戸で、前年同月比+22.8%と、8カ月連続で増加しました。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比+10.2%、**貸家**で同+204.8%、**分譲住宅**で同▲74.2%となった。

公共投資

減少している

●公共工事請負金額

5カ月連続減少 ↓



11月の公共工事請負金額は53.6億円で、前年同月比▲34.6%と5カ月連続で減少しました。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+119.8%、**県**で同▲51.1%、**市町**で同▲42.9%となった。

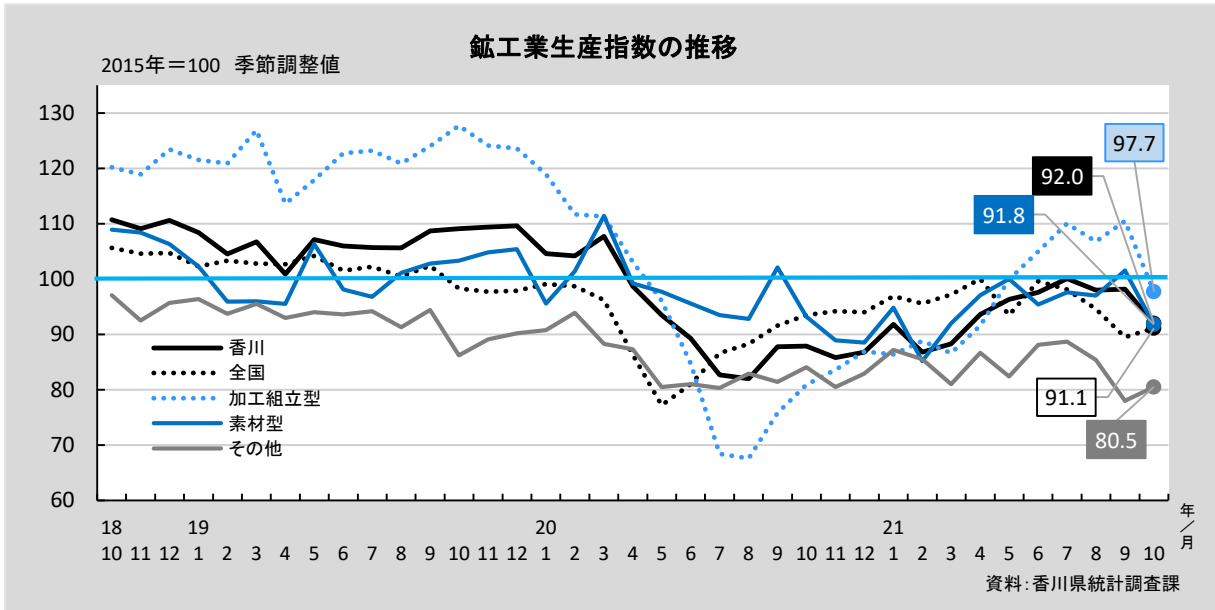
4～11月の累計では前年同期比3.3%減少している。

生産活動

持ち直しの動きが一服している

● 鉱工業生産指数

2カ月ぶり低下 ↓



10月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は92.0（前月98.2）となり、2カ月ぶりに低下した。

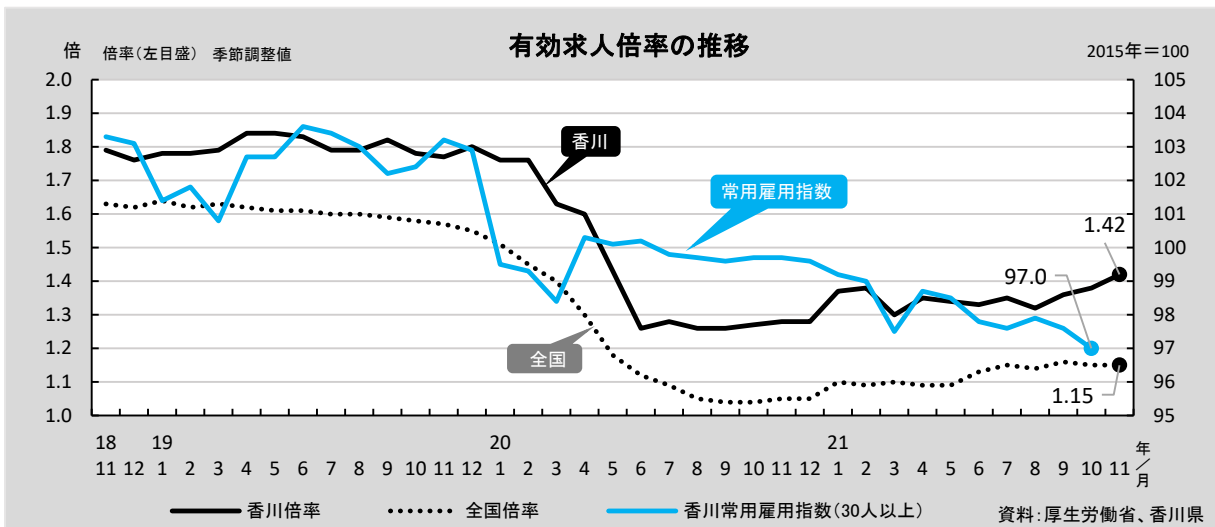
業種別では、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は前月比▲34.5%、加工組立型の輸送機械工業（鋼船など）は同▲21.8%と低下した。一方、その他業種の食料品工業（食用油など）は同+5.8と上昇した。

雇用情勢

持ち直しの動きがみられる

● 有効求人倍率

3カ月連続上昇 ↑



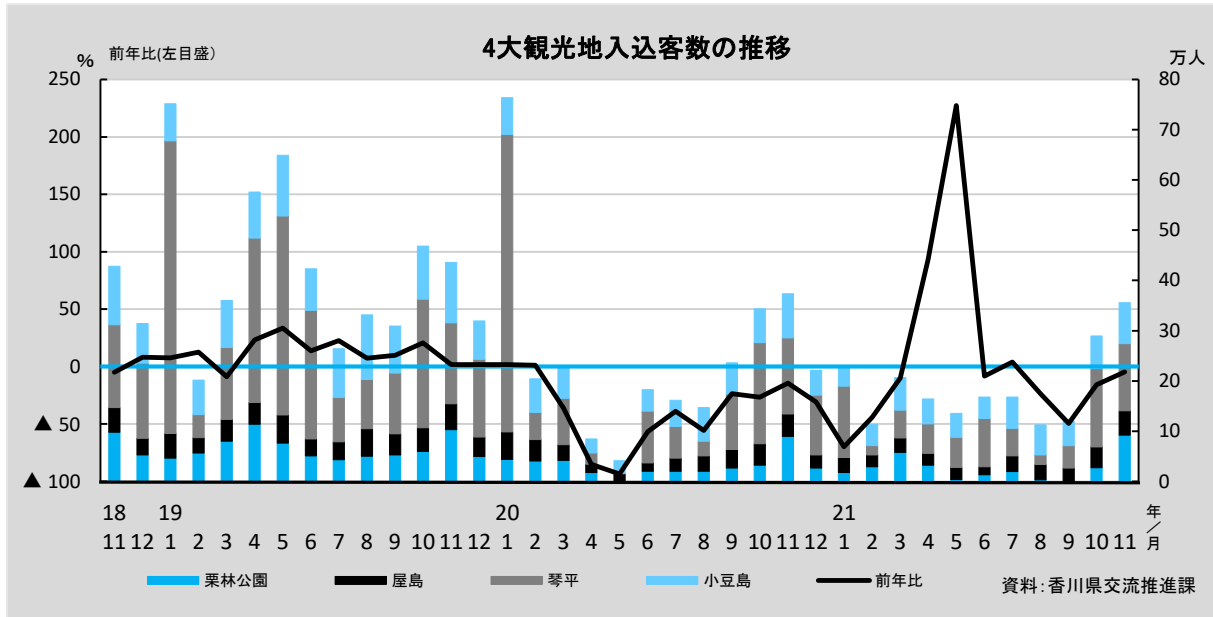
11月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.42倍（全国6位）と前月より0.04ポイント上昇した。

新規求人（原数値：前年同月比）は、情報通信業、不動産業・物品賃貸業、サービス業（他に分類されないもの）、製造業等で増加し、全体で+6.4%と8カ月連続で増加した。

10月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、97.0となり、前年同月比は27カ月連続で低下した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.18
事務的職業	0.57
販売の職業	2.13
サービスの職業	3.25
生産工程の職業	2.38
輸送・機械運転の職業	2.17
建設・採掘の職業	6.11
運搬・清掃・包装等の職業	1.09

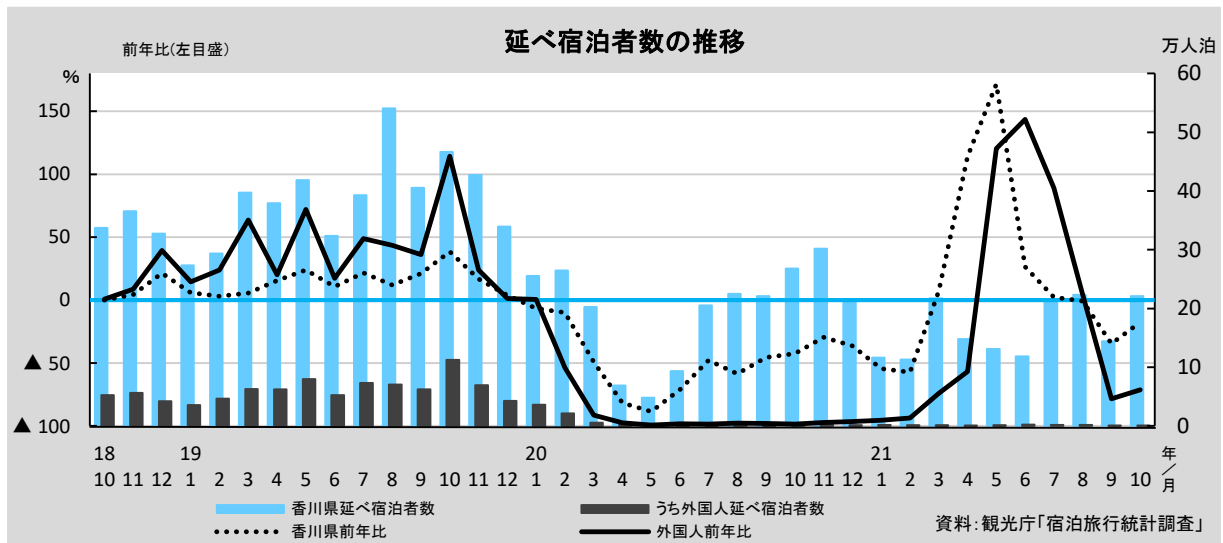
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計					
11月(人)	前年同月比	91,866	2.3%	48,414	9.6%	134,000	▲11.8%	81,635	▲6.6%	355,915	▲4.7%
1~11月累計(人)		297,149	▲16.0%	322,396	▲9.9%	839,000	▲40.9%	604,073	▲5.4%	2,062,618	▲25.5%

11月の主要観光地の入込客数は、前年同月比▲4.7%と4カ月連続で減少した。前月比では減少幅が縮小し持ち直しつつある。
1~11月の累計では前年比▲25.5%となった。

●延べ宿泊者数



10月の延べ宿泊者数は220,950人で、前年同月比▲17.6%と3カ月連続で減少した。コロナ禍以前の2019年同月比では▲52.6%となった。
うち、外国人延べ宿泊者数は510人となり、前年同月比▲71.3%と2カ月連続で減少した。2019年同月比では▲99.5%となった。